

## 平成29年度事業報告書

平成29年5月1日から平成30年4月30日まで

平成29年度の事業計画に基づき以下のとおり事業を実施し、平成30年6月9日に開催した総会に、「監事の監査報告」を添付して当該事業に係る決算案を諮ったところ、議決承認されたので報告します。



平成30年6月9日

特定非営利活動法人 NPO埼玉ネット  
代表理事 松尾 道夫

## 1. 事業実施の成果

全国的なネットワーク組織、「ユニバーサル志縁社会創造センター」、「市民キャビネット」、「認定特定非営利活動法人市民福祉団体全国協議会」の埼玉県窓口組織としてそれぞれと連携し、かつ国土交通省、埼玉県、福島県、県内の市町村、企業およびNPO・市民団体との協働をすすめた。

具体的には、前年度に引き続き、「NPOがNPOを支援する場」として活用するNPO共同オフィス（埼玉NPOハウス）の企画運営を通じ延120団体以上へ援助の活動をおこなった。

「広域的地域間共助」推進のためのモデル事業（杉戸町・富岡町・川内村地域間共助推進）事業を共同して、協働型災害訓練を行った。

NPO法人フリーマーケット主催団体協議会、NPO法人ドリームスカイ ユニオンと協働して動画配信「キミに、つながってテレビ!」を提供し、埼玉NPO放送局（埼玉NPOハウス内）を活用した。

自然災害支援を市民キャビネット災害支援部会／特定非営利活動法人 災害支援団体ネットワーク、被災3県、八代市、埼玉県労働者福祉協議会、立正大学と協働して、NPO支援センターを設置し、後方支援を行なった。特に熊本・大分大地震に対して、NPO連携熊本地震支援センター（前進基地）を設置して支援を続けている。

支援事業については、NPOフェスタ（ふじみ野市等）の事務局を担い開催した。

さらに、「熱気球の仕組みと搭乗体験」（子どもゆめ基金助成事業）、NPO塾 in 埼玉、「セプテンバーコンサート」（特定非営利活動法人国境なき楽団と共催）等に協力した。

さいたま市セントラルパーク市民協働会議に副代表として参画し、自治会、自然保護団体と協働を進めた。

以上により、埼玉県内におけるNPO・市民活動へのサポートをすすめ、合わせてネットワーク化をすすめるための基盤整備の事業を推進した。期末現在、埼玉NPOハウスのネットワーク参加団体は128団体である。

2017年 6月 平成29年度 福島県ふるさとふくしま交流・相談支援事業（県外避難者支援事業）

2018年 2月 第5回協働型災害訓練 in 杉戸

## 2. 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
① 特定非営利活動法人や市民活動団体などの設立や運営支援に関する	埼玉NPOハウスの運営に関する事業	通期	埼玉NPOハウス	2人(延24人)	会員/一般120団体	830
	設立や運営に関する相談事業	通期	埼玉NPOハウス	1人(延12人)	会員/一般60人	0

事業 (共同オフィス・ 研修・講習会等の 事業)	東日本大震災被災 地支援	通期	埼玉NPOハ ウスほか	5人(延 60人)	被災者 2,000名	8,292
	「NPO塾 in 埼玉」 セミナーの企画に 関する事業	通期	埼玉NPOハ ウスほか	2人(延 24人)	会員/一般 2,000人	0
② 特定非営利活 動法人や市民 活動団体など と企業や行政 の協働に関す る事業	助成金、委託事業 の企画運営に関す る事業(緑の募金)	通期	埼玉NPOハ ウスほか	2人(延 24人)	会員/一般 200人	
	助成金、委託事業 の企画運営に関す る事業	通期	埼玉NPOハ ウスほか	2人(延 24人)	会員/一般 200人	
	NPOフェスタ、 大宮日進七夕まつ りの開催	5月～ 4月	代々木公園、 ふじみ野、大 宮日進七夕ま つり	40人(延 300人)	会員/一般 80,000人	505
	ラジオテレビ放送 事業	毎週土 曜1時 間	すまいるFM 埼玉NPOハ ウス	12人(延 250人)	会員/一般 10,000人	0
③ 特定非営利活 動法人や市民 活動団体など のネットワー ク化に関する 事業	人材育成に関する 事業(訓練)	通期	すぎとピア	2人(延 6人)	会員/一般 140人	1,197
	セントラルパーク 市民協働会議	5月 10月	合併記念見沼 公園	30人	会員/一般 1,000人	0
	ホームページの運 営に関する事業	通期	埼玉NPOハ ウス	1人(延 12人)	会員/一般	0
	メルマガの発行に 関する事業	毎月1 回	埼玉NPOハ ウス	1人(延 12人)	会員/一般	0
④ 情報収集と発 信、及び調査研 究に関する事 業						
⑤ 会報、出版物等 の発行の事業						

### 3 当期収支差額の取り扱いについて

当期収支差額は、次のとおりであり、全額を次年度に繰り越すものとした。特定非営利活動に係る会計

▲141,590円

**平成29年度 活動計算書**  
(平成29年5月1日から平成30年4月30日まで)

特定非営利活動法人NPO埼玉ネット  
単位：円

科 目	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
1 受取会費		
正会員受取会費	350,000	
賛助会員受取会費	0	350,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	1,800,000	1,800,000
3 受取助成金等		
4 事業収益		
定款の事業①支援：埼玉NPOハウス	729,000	
定款の事業②協働：共助の福島県	7,022,000	
定款の事業③協働：訓練	800,000	
定款の事業③ネットワーク：まつり	100,000	
定款の事業③ネットワーク：ゆめ基金	220,000	
定款の事業④研究：		
定款の事業⑤発行	0	8,871,000
5 その他収益		
受取利息	31	
雑収入	0	31
経常収益計（A）		11,021,031
<b>II 経常費用</b>		
1 事業費		
(1)人件費		
給料手当		
臨時雇賃金	680,000	
法定福利費		
人件費計	680,000	
(2)その他経費		
交付助成金：	1,000,000	
講師謝金	1,790,000	
消耗品費	746,766	
通信運搬費	89,437	
印刷製本費	163,200	
旅費交通費	1,990,722	
車両経費		
水道光熱費		
委託費	866,480	
賃借料	2,252,435	
使用料	328,680	
地代家賃	918,250	
減価償却費		
保険料		
その他経費計	10,145,970	
事業費計		10,825,970
2 管理費		
(1)人件費		
役員報酬		
給料手当	0	
人件費計	0	

(2)その他経費			
会議費			
旅費交通費			
通信運搬費	120,000		
水道光熱費	120,000		
地代家賃	87,500		
消耗品費			
印刷製本費			
車両経費			
減価償却費			
保険料	9,120		
雑費			
その他経費計	336,620		
管理費計		336,620	
経常費用計 (B)			11,162,590
当期経常増減額 (A - B)			▲ 141,559
<b>III 経常外収益</b>			
1 固定資産売却益		0	
経常外収益計 (C)			0
<b>IV 経常外費用</b>			
1 過年度損益修正損		0	
経常外費用計 (D)			0
①当期正味財産増減額 (A - B + C - D)			▲ 141,559
②前期繰越正味財産額			1,206,054
次期繰越正味財産額 (① + ②)			1,064,495



平成29年度  
**特定非営利活動事業会計 財産目録**  
 平成30年4月30日 現在  
 特定非営利活動法人 NPO埼玉ネット

(単位：円)

科目・摘要	金額		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金	809,982		
普通預金	71,513		
未収入金	183,000		
<b>流動資産合計</b>		<b>1,064,495</b>	
2 固定資産			
<b>固定資産合計</b>		<b>0</b>	
<b>資産合計</b>			<b>1,064,495</b>
<b>II 負債の部</b>			
未払い金			
<b>流動負債合計</b>			
2 固定負債			
<b>固定負債合計</b>			
<b>負債合計</b>			<b>0</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		1,206,054	
当期正味財産増加額		△ 141,559	
<b>正味財産合計</b>			<b>1,064,495</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>			<b>1,064,495</b>